

ふしうっこ日記

令和7年12月9日

芸術鑑賞

今日は、PTA主催の芸術鑑賞がありました。「夢団」という劇団によるミュージカル「虹色サンゴ」を見せていただきました。体育館に入ると、海の中に迷い込んだような印象で、すっかり劇場に変身していました。



両親と一緒に楽しく暮らしていた「サンゴ」という小魚が、ある日、突然人間の網に両親を連れ去られてしまいます。悲しんでいるところに、片ひれのない「ポリー」という魚に出会います。「ポリー」は片ヒレがない状態で生まれてきましたが、明るく、強く、前向きな気持ちで生きようとしていました。その2匹が「虹色のサンゴ」を求めて冒険に出かけます。海の中の人間が捨てたごみの山を見たり、カメやカニ、タコに出会って助けてもらったりしながら冒険をします。渦潮に飲み込まれ、深海魚やサメに襲われたりしながらも、強運に恵まれて生き延び、虹色のサンゴにたどりつくという

物語でした。その中で、環境、友情、まわりにあるものも大切にすることの大切さについて考えることができました。「光り輝く命の中に、家族や友達がいる。だから、希望に向かって進んでいけるんだ」という



内容のセリフに胸が熱くなりました。「去年はサーカスで、今年はミュージカル。来年は何か、楽しみ!」とは、鑑賞後の2年生児童の言葉です。子供たちが楽しみにしている行事の一つです。

計画、準備をしていただいたPTAの皆様、ありがとうございました。学級閉鎖で見られなかつた学級の子供たち、欠席をされた子供たちにとっては、見られなくて残念でしたが、鑑賞した子供たちと話を共有できればよいなと思います。

